



日 口 交 流

発行 : 特定非営利活動法人 日口交流協会

E-mail: nichiro@nichiro.org

Home Page <http://www.nichiro.org>

〒106-0041 東京都港区麻布台3-4-14麻布台マンション401号

Tel : 03 (5563) 0626 Fax : 03 (5563) 0752



互いの親交を深めた日口交流バスツアー 大使館より

岩本 智子

4月中旬、ようやく春めいてきたころに、日口交流バスツアーが行われた。ロシア側の幹事リャボフ・スベトラーナ様とサポロトヌイ・ナターリア様にはご協力いただき感謝申し上げます。今回のバスツアーについてサポロトヌイ・ナターリア様より、次のようなお礼のお手紙を頂きましたので、まずはご紹介いたします。

『4月18、19日にロシア大使館職員と日口交流協会会員との、栃木県・茨城県へのバスツアーが行われました。私達はみんな、その日の朝から浮き浮きした気分でした。天気も素晴らしく、さわやかに太陽がふりそそぐ中で、私達はこれから出会う史跡や新しい交流の感動を予感していました。力強い袋田の滝や、素晴らしい益子焼きの陶器職人の里、崇高な筑波山から見下ろした壮大な渓谷の景色などが記憶に残っています。牛久シャトーでは、ワイン博物館を訪ね、日本人ワイン醸造職人によるワインを試飲させてもらい、自宅用にも友達にもお土産を買いました。香りのよい美しい花々を楽しんだ、フラワーパークも忘れてはなりません。宿泊先のつくばねでの懇親夕食会では、伝統的な日本料理を食べたり、日本の歌を聞いたりするチャンスが訪れました。ロシア人の何人かは、今回初めて温泉に入ったり、浴衣を着たり、畳の上で寝たりしたのです。旅行の主催者が私達のために用意してくれた、日本の史跡・観光地についての説明文は、とても面白く知識が深まりました。ピンゴゲームを楽しむうちに、帰りの道中の時間はあっという間にすぎました。この旅行で過ごす間に、私達はいろいろなテーマについて話し、日本の文化や伝統を知ることができました。また、ロシアについても語ったりロシアの歌を歌ったりしました。これにより私達はより良く知り合い、互いの親交を固いものにすることが出来ました。私達は、この旅行を企画してくれた日本の皆さんに心より感謝します。このような交流がこれからも続くように願っています。ロシア大使館職員より感謝を込めて』

今回のバスツアーは、ロシア人28名、日本人17名の団体となった。訪問地は、栃木県の益子焼きの里、茨城県の袋田の



滝、ケーブルカーでの筑波山登頂、茨城県フラワーパーク、牛久シャトー「カミヤ」。益子焼きの里では、棟方志功等の作品を所蔵する美術館を見学した。フラワーパークでは、水仙やパンジー、シャガなど春の花が広がり、中でも満開の八重桜が際立っていた。ロシア語を学んでいる参加者にとっては、この旅行は生きた会話に触れ少しでも言葉の手助けをするという大変貴重な経験となる。ナタリア・ザパロトナヤ様のお便りにある、「説明文」は袋田の滝や筑波山の地理・益子焼きや牛久シャトーの歴史について、ロシア語中級クラス在籍の阿部氏が今回のバスツアーのためにロシア語で作成したものである。宿泊地は国民宿舎「つくばね」。夜の懇親会では、ロシア人も全員浴衣を着こなして集まった。日本の会席料理に加えて、内堀事務局長自らトップバッターでのカラオケで「おもてなし」をした。しかし、それに応戦してのリャボフ・オレグ総領事の日本語の歌、ロシア人全員声を合わせたロシア民謡と子ども達の堂々とした踊りを見ると、エンターテイメントについて日本人は敵わないことがわかった。

尚、この度のバスツアーは、日本語講師としてロシア大使館と深い交流のある千葉常任理事に依頼があって実現し、服部専務理事が安全に留意しつつ盛りだくさんの行程を計画した。このような交流がこれからも続くよう、協会の一員として協力していきたい。(常任理事)

●第21回マトリョーシカ絵付け教室